



井上 健亮さん (29歳) (営農地／朝倉市長谷山)

農業は自然との闘い。でも俺は受け継ぐ

《就農のきっかけ》

受け継がれる思い、受け継ぐ思い

高校卒業後、レストランなどのサービス業に従事していた井上さん。心の片隅にはずっと実家の農業がありました。長男だった井上さんは、ナシ農家の4代目の跡継ぎとして周囲からは期待されていましたが、「一度は社会に出て勉強したい!」との思いが強く、親の反対を押し切り就職しました。しかし、就職して8年、徐々に社会生活に慣れ、まさにこれからというとき、祖父がけがをしてしまいました。経営面積を減らそうかという時に、親から相談を受け、就農を決意しました。妻と2人の子供とともに実家に戻った井上さんは周囲からも喜ばれ、経営面積は減らさずむしろ拡大していきました。

《これまでの過程》

苦難の連続、農業は自然との闘い

親元就農ということもあり、当初は親の言うとおりに働いていました。しかし、農業の大変さを目の当たりにします。それは、就農1年目、降雹で落果や傷果が大発生したのです。そんなに落果したのを見たのは生まれて初めてでした。もちろん、収入は通常の3分の2程度だったのです。さらに追い打ちをかけて、就農2年目には台風の襲来でこれまた落果。「農業は自然との闘い」と実感。今までの社会生活との違いを痛感したのです。

「農業は初めてのことばかりですが、社会に出て学んだことも農業に活かしています。例えば、お店の副店長として部下の指導も行ってた経験は、今では従業員に対する指示や情報共有などに役立っています。少しずつですが、自分が経営の中心として農作業の組立てなどを行っています。」と、語ってくれました。



プロフィール

■家族構成／父、母、本人、妻、子ども2人 ■前職／サービス業
■営農年数／約5年 ■従業員数／臨時3名 ■耕作(経営)面積／2.3ha
■販路／JA共販、直接取引

《これからの展望》

自分の思いを形に新しい販路を模索

井上さんはナシ農家の4代目となり、初代の曾祖父が植えたナシの樹齢は70年を超えます。通常は30年ほどで植え替えを行いますが、井上さんは70年を超える樹の収穫量が落ちないように、土づくりやきめ細かい栽培管理を行っています。同時に、経営面積の拡大や新品種の導入、新しい苗への計画的な植え替えなどを行い、規模拡大と所得向上を目標に頑張っています。また、観光部会に加入して、消費者に自分の作ったナシの直接販売もしていますが、「今後は、インターネット販売やフェイスブックを活用した宣伝など、今までの経営に加えて新しい販路を拡大していきたい。」と意気込んでいます。



Good👍 成功のためのポイント

どんなことでも好奇心を持つことが大切です。常に疑問に思い、調べると、理解できて、なんでも好きになり、やる気が出てどんな問題でも解決できるはずですよ。